

交流集会13 「家族看護エンパワーメントモデル」の臨床への活用 －モデルを用いた家族看護の展開を体験してみよう－

9月10日（日）9:20～10:30
第8会場（保健学科棟2階
第6講義室）

※対面のみ

長戸和子・池添志乃・瓜生浩子・源田美香（高知県立大学看護学部）
上村奈緒子（岡山大学病院）・皆本美喜（園田学園女子大学人間健康学部）
川村真澄（札幌厚生病院）・永井真寿美（島根県立大学看護栄養学部）
松石由美子（リアンドファミリー訪問看護ステーション）・田中陽子（岡山赤十字病院）
駒村里香（高知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程）

“家族看護エンパワーメントモデルってどんなモデル？”

“臨床でうまく使うにはどうすればいいのかな？”

皆さんは、「**家族看護エンパワーメントモデル**」をご存じでしょうか。
使ってみたい方、使ったことはあるけれど難しかった…と感じている方も
おられるのではないのでしょうか。

本交流集会では、モデルのポイントを押さえながら、実際の事例を用いて、
グループで「**家族の病気体験**」と「**家族アセスメント**」から「**家族像**」を
形成し、援助の方向性を検討します。一緒にチャレンジしてみませんか。

家族看護エンパワーメント
ガイドライン

